

# '73 Design Year Schedule

昭和48年7月1日現在

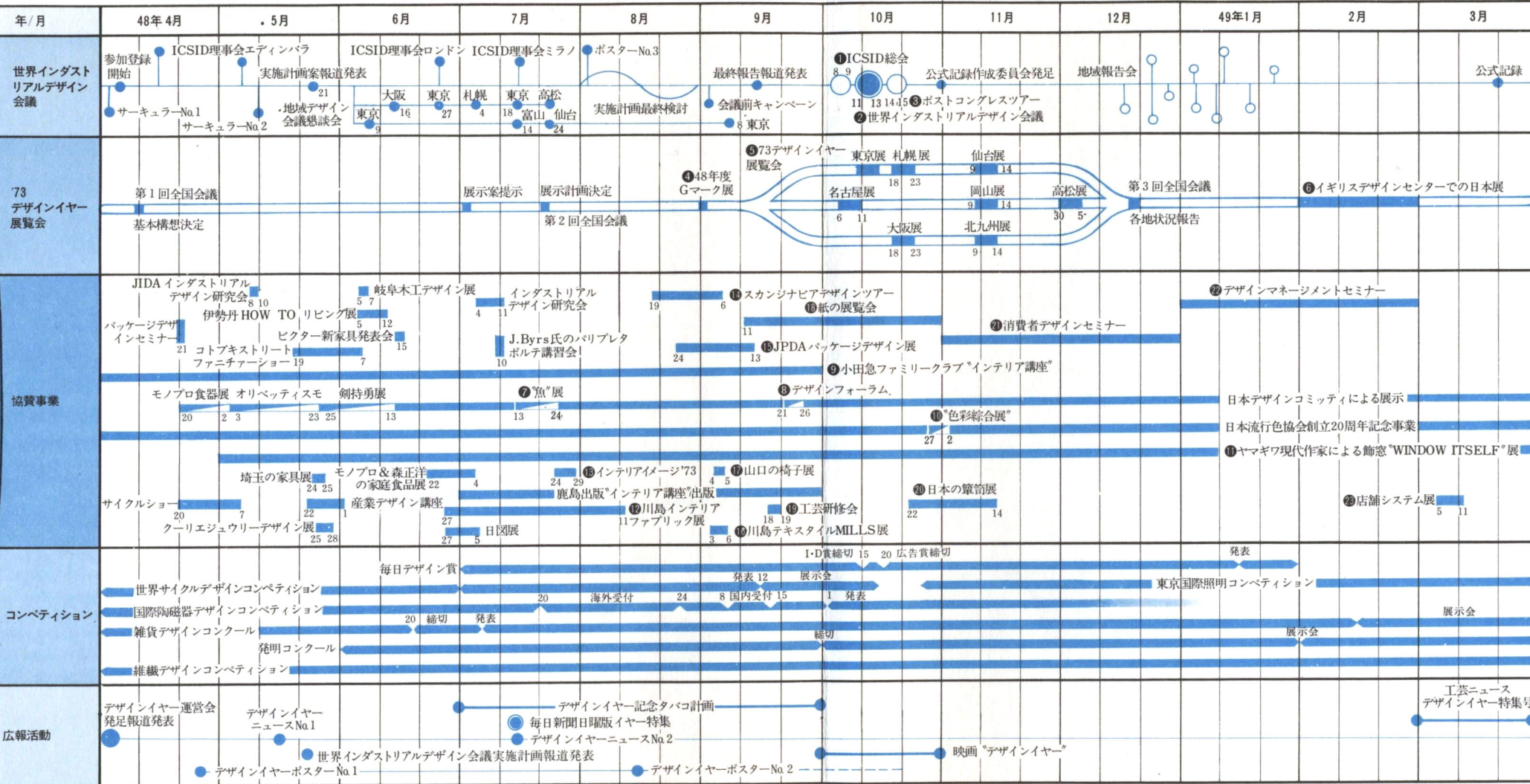
## ●デザインイヤー設立経過

昭和46年 6月9日	ICSID日本協議会(製品科学研究所、日本産業デザイン振興会、日本インダストリアルデザイナー協会にて構成)で、昭和48年を産業デザインの啓蒙運動の年にする方針が提起された。
昭和47年 3月22日	デザインイヤー事業計画の概要を、昭和46年度デザイン奨励審議会へ報告した。
昭和47年 8月11日	デザイン奨励審議会より「70年代のデザイン振興政策のありかた」が答申されその中にデザインイヤー運動の国民的展開の必要性が強調された。
昭和47年 12月22日	デザインイヤー運営会設立される。
昭和48年 4月1日	デザインイヤー運動始まる。

●事業の場所、内容、主催 (①②③…は実施される事業名です。既に終了した4月～6月については除きます。)  
 ①●会場 新宿京王プラザホテル■内容 1957年に設立、現在35ヶ国、57団体が加盟し、ユネスコ、ILOなどと協力して、国際的なデザイン振興活動を行なっている国際インダストリアルデザイナー団体協議会の第8回総会。  
 ②●会場 京都宝池・国立京都国際会館■内容 国際インダストリアルデザイナー団体協議会の第8回総会が日本で開かれるのを機会に、アジアではじめて、世界40ヶ国より1500名のデザイナー、デザイン関係者と、教育者、産業界、学者、学生などさまざまな人の参加のもとに、「人の心と物の世界」というメインテーマを、デザインというトータルな視点をとって討議する分科会、記念講演、「自己の作品」、「自己のデザイン観」を展示し交流を計るICSID BOX、自転車を使って1200年の伝統と明日に生きようと

する京都を見聞するコングレスシティーで構成されている。  
 ③●訪問先と内容 会議参加者とツアー参加者の両者による、東京、大阪、京都、名古屋、奈良、それぞれ各地を中心に訪問する7つのデザインツアーである。  
 ④●会場 日本産業デザイン館-東京・浜松町世界貿易センタービル別館4階■内容 '73デザインイヤーを記念して、Gマーク制度開始以来17年の回顧と、48年度選定商品を中心とする、企業のデザインポリシー紹介。  
 ⑤●会場 東京・科学技術館、札幌・丸井今井百貨店、仙台・藤崎百貨店、高松・市立近代美術館、大阪・阪神百貨店、北九州・井筒屋百貨店 ■内容 “期待される私たちの生活を見出すために”(メインテーマ 仮称)日常生活の中から生み出されるさまざまな知恵と文化の姿をデザインをつうじて浮き彫りにすることにより、生産、販売、消費のすべての立場から、新しい生活創造を考え

## デザインイヤー



るため、「暮らしをデザインする」高密度社会における日本人のくらし、各展示地域ごとの展示(東京はGマーク回顧、「海外収集品」)、などを提案し、入場者が実際に手に触れたり、使用出来るような親しめる形で表現される。  
 ⑥●会場 ロンドン、ハイマーケットのイギリスデザインセンター■内容 “日本人の生活とデザイン”(仮テーマ) ■主催 日本貿易振興会(JETRO)  
 ⑦●会場 銀座松屋7階デザインギャラリー■内容 亀倉雄策担当の魚展 ■主催 日本デザインコミッティー  
 ⑧●会場 銀座松屋7階デザインギャラリー■内容 各分野の現役代表作家の展示 ■主催 日本デザインコミッティー  
 ⑨●会場 新宿小田急百貨店■内容 主婦を対象とした家庭におけるインテリアデザイン ■主催 小田急百貨店  
 ⑩●会場 新宿伊勢丹■内容 “色いろよみがえる”ウィークディとウィークエンドの生活様式が、生活意識やその構

造に焦点が合わされてきているが、その中で色彩とのかわり合いを構成展示する。■主催 日本流行色協会  
 ⑪●会場 東京、横浜、大阪、名古屋のヤマギワ電気各店のウィンドー■内容 福田繁雄(グラフィックデザイナー)、木村光佑(版画家)、倉俣史郎(インテリアデザイナー)、久里洋二(漫画家・アニメーター)、真鍋博(漫画家・イラストレーター)、レイ・コマイ(アメリカ大使館アートディレクター)、関根伸夫(造形家)、島州一(版画家)、篠田守男(彫刻家)、高松次郎(造形家)、田中一光(グラフィックデザイナー)、戸村浩(造形家・デザイナー)、横尾忠則(イラストレーター・デザイナー)らによる現代の飾窓を造り出す。 ■主催 ヤマギワ電気株式会社  
 ⑫●会場 東京科学技術館、大阪OMMビル、仙台日生会館、広島産業会館、高松四国新聞社ビル、名古屋豊田ビル、福岡商工会議所ビル、金沢北陸放送会館、札幌北海

道経済センター■内容 インテリアファブリック新製品及びニューデザインの発表 ■主催 川島織物株式会社  
 ⑬●会場 兵庫県立近代美術館■内容 期待される“住い”の装置によるインテリア空間とインテリアエレメントへの提案とセミナー ■主催 日本インテリアデザイナー協会  
 ⑭●会場 新宿京王百貨店、大阪デザインセンター■内容 パッケージデザインの今後に対する提案とデザインの在り方について ■主催 日本パッケージデザイン協会  
 ⑮●会場 東京科学技術館■内容 創業130周年記念展 “THE MEMORIAL EXHIBITION”展 ■主催 川島織物株式会社  
 ⑯●会場 東京日生ホール ■主催 山口木材工業株式会社  
 ⑰●会場 未定 ■内容 紙の利用提案、創作 = 紙と私たちの生活との対話 = 紙の世界 ■主催 平和紙業株式会社

⑱●会場 長野松本市 ■内容 土地の伝統技術を見聞研修する ■主催 (財)工芸財団、日本工芸技術協会  
 ⑲●会場 東京晴海家具の歴史館 ■内容 日本箆笥の種類、歴史と変遷、箆笥の技術、地方別の展示、古来の日本の室のモデルルーム、嫁入道具 ■主催 家具保存協会  
 ⑳●会場 北海道から沖縄まで、全国16ヶ所において開催 ■内容 消費者が自主的によいデザインの商品を見きわめ正しい評価をしていくために。テーマ “生活とデザイン”(仮称) ■主催 (財)日本産業デザイン振興会  
 ㉑●会場 東京 大阪 ■内容 新製品の開発にあたって、システムティックなデザイン開発のためのデザインマネージメントのあり方 ■主催 (財)日本産業デザイン振興会  
 ㉒●会場 東京晴海国際貿易センター ■内容 “JAPAN SHOP74・都市再開発に基づくこれからの商業環境”展 ■共催 店舗システム開発研究会、日本経済新聞社